

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市長居障がい者スポーツセンター・大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
施設所管課・担当	福祉局障がい者施策部障がい福祉課（担当：高橋・竹下）
条例上の設置目的	障がい者に対し、スポーツ及びレクリエーション活動の機会を提供するとともに、障がい者のスポーツに関する講習会等を開催することにより、障がい者の自立と社会参加を促進し、もって障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。
業務の概要	（１）障がい者スポーツセンターの運営業務 ア 障がい者に対する各種スポーツ及びレクリエーション活動の機会の提供 イ 障がい者のスポーツに関する各種講習会の開催その他障がい者のスポーツの指導 ウ 障がい者のスポーツの振興を担う人材の育成 エ 障がい者のスポーツに関する普及啓発等 （２）建物及び付属設備の維持保全に関すること （３）その他障がい者スポーツセンターの管理に関すること
成果指標	利用者満足度／新規利用者数
数値目標	80％以上／600人以上
指定管理者名	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日（5 年間）
評価対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	新規利用者数
数値目標	80％以上	600人以上
年度実績	94.5%	907人
達成率	118.1%	151.2%

利用状況

（１）大阪市長居障がい者スポーツセンター

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	208,174人	127,787人	163%

（２）大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

ア スポーツ施設

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	126,252人	85,315人	148%

イ 宿泊研修施設

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	14,589人	9,937人	147%
稼働率	31.7%	21.6%	147%

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

(単位：円)

収入			当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
受託事業収入		実績	661,118,021	654,170,509	1,108,021	
		計画	660,010,000	650,167,000		
	業務代行料収入	実績	652,583,000	650,289,298	0	
		計画	652,583,000	642,475,000		
	自主事業収入	実績	4,421,241	3,700,526	△ 2,470,759	令和５年度 ＮＴＣ競技別強化拠点施設機能強化事業委託料の精算戻入による減
		計画	6,892,000	7,127,000		
	その他の収入	実績	4,113,780	180,685	3,578,780	日本バラスポーツ協会からの補助金収入（スポーツ備品（ひかり刺激スタート装置）の購入に係るもの）による増
		計画	535,000	565,000		
経常経費寄附収入		実績	436,880	372,770	436,880	寄附の申出に伴う収入の皆増
		計画	0	0		
その他の収入		実績	40,985,372	25,745,182	4,140,372	
		計画	36,845,000	38,215,000		
	受入研修費収入	実績	133,000	35,000	123,000	実習生の研修受入に伴う収入の増
		計画	10,000	0		
	雑収入	実績	121,397	228,544	109,397	
		計画	12,000	22,000		
	宿泊研修室利用料金収入	実績	36,259,222	22,186,500	2,623,222	
		計画	33,636,000	35,580,000		
	自主事業収入	実績	4,471,753	3,295,138	1,284,753	自販機等の売上収入の増
		計画	3,187,000	2,613,000		
拠点繰入金収入		実績	190,000	190,000	0	
		計画	190,000	190,000		
合計		実績	702,730,273	680,478,461	5,685,273	
		計画	697,045,000	688,572,000		

支出			当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費支出		実績	300,675,367	288,040,410	△ 2,459,633	
		計画	303,135,000	297,764,000		
	スポーツ施設部門	実績	285,782,560	276,964,615	△ 5,862,440	職員の配置変更、育児休業の取得に伴う人件費の減
		計画	291,645,000	279,981,000		
	宿泊研修室部門	実績	14,892,807	11,075,795	3,402,807	宿泊研修室利用者の増加に伴う人件費の増
		計画	11,490,000	17,783,000		
事業費支出		実績	135,183,239	142,282,598	△ 11,449,761	
		計画	146,633,000	158,690,000		
	スポーツ施設部門	実績	130,327,455	139,307,442	△ 13,296,545	光熱水費の増が、国のエネルギー価格激変緩和対策等により、計画時に見込んでいた額より抑えられたため
		計画	143,624,000	151,355,000		
	宿泊研修室部門	実績	3,885,130	2,119,271	1,822,130	
		計画	2,063,000	5,717,000		
	自主事業部門	実績	970,654	855,885	24,654	
		計画	946,000	1,618,000		
事務費支出		実績	240,788,568	225,262,402	29,382,568	
		計画	211,406,000	210,856,000		
	スポーツ施設部門	実績	217,348,480	211,527,281	22,960,480	物価、人件費等の高騰による修繕費、業務委託料等の増
		計画	194,388,000	192,162,000		
	宿泊研修室部門	実績	17,484,637	8,798,033	11,911,637	宿泊研修室利用者の増加に伴う事務費の増
		計画	5,573,000	11,753,000		
	自主事業部門	実績	5,955,451	4,937,088	△ 5,489,549	事務消耗品費（貸しロッカー更新の延期）、業務委託料、報償費（ＮＴＣ競技別強化拠点施設機能強化事業におけるスタッフ謝礼金）等の減
		計画	11,445,000	6,941,000		
拠点繰入金支出		実績	24,171,111	23,804,771	285,111	
		計画	23,886,000	20,402,000		
	スポーツ施設部門	実績	24,034,480	23,690,360	361,480	
		計画	23,673,000	19,754,000		
	自主事業部門	実績	136,631	114,411	△ 76,369	
		計画	213,000	648,000		
予備費		実績	0	0	△ 11,985,000	予備費の皆減
		計画	11,985,000	860,000		
合計		実績	700,818,285	679,390,181	3,773,285	
		計画	697,045,000	688,572,000		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	118.1%	A	利用者サービス向上に努め、目標を上回る満足度となったことから、左記の評価とする。
新規利用者数	151.2%	S	情報発信の強化に努め、目標を大幅に上回る新規利用者数となったことから、左記の評価とする。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
ペーパーレス化の推進、資源ごみの有償回収、空き缶・ペットボトルの無償回収依頼の実施、利用団体のごみの持ち帰りの協力依頼、照明設備のＬＥＤ化等を行った。	B	-

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	-
事業計画の実施状況	A	・様々な利用者のニーズに対して、柔軟に対応するなどサービス向上に取り組んでおり、その結果満足度も高い。 ・動画をホームページに公開するなど、利用者サービスの向上や情報発信の強化に努めた。
施設の有効利用	B	-
社会的責任・市の施策との整合性	B	-

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法 施設利用者に対して、アンケート調査を実施（用紙回答又はWEB回答）
（2）回答者数 471人 長居障がい者スポーツセンター：243人 舞洲障がい者スポーツセンター：228人
（3）質問項目 ア 基本属性（障がいの有無、種別、年代、居住地等） イ 障がい者スポーツセンターの利用状況等 ウ 障がい者スポーツセンターに対する評価等 エ 自由意見
（4）結果 ・ 障がい者スポーツセンターを利用する理由として、「障がい者専用の施設だから（長居63.9％・舞洲77.5％）」、「利用料金が無料または少額だから（長居52.2％・舞洲58.3％）」が多い。 ・ 障がい者スポーツセンターを利用してよかったこととして、友人が増えた、ストレスが減った、身体の調子が良くなった、運動が好きになった、行動範囲が広がったなど、利用者により様々であり、後述の施設の満足度が高い状況を踏まえると、指定管理者は施設の設置目的の達成のため、利用者のサービス向上に努めている。 ・ センターの満足度について、専門性の高い指導員を配置し、障がいの種別やニーズに応じたスポーツ指導をはじめ、各種教室や事業などに取り組み、センターのサービスに関する満足度（長居93.4％・舞洲94.9％）は非常に高い。 ・ その他、利用者からは、わかりやすい情報の発信、職員の接遇及び設備面の改善などに関する意見などがあった。引き続き、利用者のニーズを把握しながら改善を図り、サービスの向上に努める必要がある。

6 外部専門家意見

・利用人数の増加、施設の計画的修繕及び研修の実施について、高く評価できる。 ・SNS等を活用した情報発信の努力に、引き続き期待している。 ・利用者からの声について、きめ細やかに対応をしている点は評価できる。一方、ヒヤリハット事案も見受けられたため、事案が生じた場合には、引き続き手厚い対応をお願いするとともに、発生件数などを次回以降の事業報告書には記載されたい。 ・そのほか、カスタマーハラスメント（カスハラ）については、社会問題になっているため、職員がメンタルヘルスを損なうことがないように留意されたい。性的マイノリティに関しても、社会的要請も高まっているため、今後も適切な対応に努められたい。 ・また、障がいのある方が多数利用される施設であることから、引き続き感染症対策に取り組んでいただきたい。
--

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		A	利用者サービス向上・新規利用者獲得に努め、目標を上回る成果を得ている。
市費の縮減		B	ペーパーレス化の推進など、適正な市費の削減に努めている。
管理運営の履行状況		B+	施設の適切な管理運営及び利用者サービスの向上に関する取組に努めている。特に、施設外での出張スポーツ・レクリエーション事業、障がい者スポーツ振興を担う人材育成のほか、職員の意識・知識・技術の向上に向けた研修を行うなど、多方面からさまざまなサービスの提供に取り組んでいる点について評価できる。
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		B	概ね事業計画が達成できており、総合的に評価できる。